

一般に入手できるEnMS導入に関する情報

- 資源エネルギー庁 ISO50001導入事例紹介

2011年からISO 50001の認証取得を果たした事業者の認証取得の経緯、苦労/工夫した点、メリット等をヒアリング調査し、公表

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/iso50001/case/index.html

- 経済産業省 事業競争力強化モデル事業プロジェクトの成果報告

2013年度に実施されたISO 50001 (EnMS)、ISO 22301 (BCMS) の新しいマネジメントシステム規格を利用したサプライチェーンなどグループ単位での事業競争力強化モデル事業の成果を紹介

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/group-ms/index.html>

自動車部品製造業の例

導入の背景

- エネルギーコストの削減（2年前に導入したエネルギーマネジメントシステムを利用して工場内400箇所でエネルギーの使用量を監視。これを有効に活用したい。）
- 遵法性の向上、人材の育成。

ISO50001の導入による成果

- エネルギー管理システムで計測した各種データをISO50001の仕組みを活用する事によりデータ解析、施策立案、施策実施、効果確認のステップが標準化され、永続的にシステムチックな省エネ展開が可能となった。
- 各部門実務担当者（省エネ担当部門以外）のエネルギー管理システムデータを解析するスキルが向上した。
- 省エネ施策のノウハウが集積できた。
- 事業所内での省エネの士気が高まった。

今後の展開

- エネルギー管理システムデータの分析力、実行力の強化（省エネワイガヤの導入）
- エネルギーの見える化による改善ノウハウの蓄積（省エネ調査表の導入）

精密プレス加工業の例

導入の背景

- 1998年にISO 14001の認証を取得、環境マネジメントの取り組みの一つとして省エネルギーに取り組んできたが、さらなるエネルギー効率の改善を目指す。
- 温室効果ガスの削減による社会貢献。

ISO50001の導入による成果

- エネルギーパフォーマンスの改善（原単位1%の改善目標に対して、16%の削減を実現）
- データの見える化（データに基づくエネルギーレビューの実施により、改善すべきところ、改善により見込まれる効果が明確になった。）
- 見える化の結果、投資の必要性の判断が明確になった。
- 社内の活性化、社員のモチベーションの向上につながった。（楽しみながら取り組む、社員の家族も巻き込み社員のモチベーションの向上につなげる）

今後の展開

- 隣接する別工場への拡大
- エネルギーの見える化による改善ノウハウの蓄積（省エネ調査表の導入）